

倫理審査委員会 承認記録簿

回	日時	審議 番号	課題名	部署	役職	氏名	申請 種別	研究登録終了日			研究等の概要（背景および目的）	迅速承認	本人呼出	結果
								平成	月	日				
臨時⑥	3月7日	1-1	造血幹細胞移植後患者に生じた特発性肺炎症候群に対する抗TNF薬エタネルセプトによる治療	血液内科	医長	久富 崇	新規	-	-	-	造血幹細胞移植後の重篤な肺合併症の一つとして特発性肺炎症候群がある。特発性肺炎症候群は臨床診断名であり、病理学的にinterstitial pneumoniaまたはdiffuse alveolar damageを示すheterogeneousな疾患の集合体である。骨髄破壊的前処置による前処置を受けた患者に多く3～15%に認め、その致死率は50～80%と予後不良な疾患である。病態は明らかになっていないが、前処置に伴う肺の内皮障害に続き、肺のマクロファージやTリンパ球の活性化が関与していると考えられる。確立した治療法はなく、高容量のステロイドを投与することが多い。海外で特発性肺炎症候群に対してエタネルセプトが有効であるとの報告がある。			承認